



## 竹富町球技大会 モルック競技規則

### 第1条 競技の目的

本競技は、児童の交流および普及を目的として実施する。なお、本競技の成績は大会総合成績への加点対象としない。

### 第2条 適用規則

大会当日現在の日本モルック協会の公式ルールを適用する。ただし、以下に定める大会特別規則を優先して適用する。

### 第3条 チーム編成

- (1) 1チームの登録は5名とする。ただし、最少2名から参加を認める。
- (2) 各公民館からの参加は2チームまでとし、1公民館あたりの参加人数は最大10名とする。
- (3) チーム編成が困難な場合は、近隣公民館との合同チームを認める。
- (4) 各チームには必ず保護者（観察者）が1名以上帯同すること。

### 第4条 試合形式

試合形式および組み合わせは、大会当日の参加チーム数に応じて大会役員が決定し、開会式にて発表する。

### 第5条 競技方法

- (1) 投擲ラインから約3.5m先に並べた12本のスキットル（木の棒）に向かって、モルック棒を下手投げで投げる。
- (2) 各チームが1投ずつ交互に投げる。
- (3) 先に50点ちょうどを獲得したチームの勝利とする。

### 第6条 スキットルの初期配置

スキットル12本は、投擲ラインから見て手前から奥に向かい、以下のとおり4列に並べる。1列目は①②、2列目は③⑩④、3列目は⑤⑪⑫⑥、4列目は⑦⑨⑧の順とし、スキットル同士は隙間なく接して立て、番号面は投擲ライン側に向けること。

### 第7条 得点のルール

- (1) 1本だけ倒した場合は、そのスキットルに書かれた数字が得点となる。
- (2) 2本以上倒した場合は、倒れた本数が得点となる。
- (3) 倒れたスキットルは、倒れた場所でそのまま立て直す。

### 第8条 50点超えのルール

得点の合計が50点を超えた場合は、25点に戻してゲームを続ける。

## 第9条 ミス・失格

- (1) 1投でスキットルを1本も倒せなかった場合を「ミス」とする。
- (2) 3回連続でミスをした場合は、失格とせず得点を0点に戻してゲームを続ける。

## 第10条 反則

以下の行為は反則とし、その投擲は0点となる。

- (1) 投擲時に投擲ラインを踏んだ、または越えた場合。
- (2) 下手投げ以外の投げ方をした場合。
- (3) 他のプレーヤーや審判の妨害となる行為をした場合。

## 第11条 投擲順・交代

- (1) 試合開始前にじゃんけん等で投擲順を決める。
- (2) チームメンバーは順番に1人1投ずつ投げる。
- (3) 投擲順は一度決めたらゲーム終了まで変更できない。

## 第12条 熱中症対策

- (1) 水分補給・休憩などの熱中症対策は、各チームおよび帯同保護者が責任をもって徹底すること。
- (2) 体調不良が生じた場合は、速やかに大会役員または保護者に申し出ること。

## 第13条 その他

ルール変更・中止および勝敗については、審判長ならびに大会役員の協議で決定する。